



# 二人小町

作芥川龍之介

朗読劇団

# あめんぼ座

日本語のことばの美しさ、肉声の響きのすばらしさを大切に、朗読の世界をより豊かにと活動が続ける「あめんぼ座」。

今回は善性と残忍性の両面を捉え人間の本質を描く菊池寛の『入れ札』、芸術至上主義といわれ、晩年は生きることの苦悩や死への恐怖を描いた芥川龍之介の『二人小町』の2作品を朗読劇で上演します。

# 入れ札

作菊池寛

2022年

3月12日(土)

14:00開演(13:30開場)

会場：ラストホール2階 多目的ホール

一般

前売：1,500円/当日1,600円

60歳以上・高校生以下・障がい者

前売：1,400円/当日1,500円



## 出演者

芥川龍之介 「二人小町」

西野孝子

泉谷聖子

真木美佐緒

菊池寛 「入れ札」

柳沢佐和子

柏原圭子

南数美

川口雅子

鬼頭寿美子

山本郁美

森際いづみ

### あめんぼ座からラスト公演に寄せて

春三月。リニューアルされたラストホールでの三年ぶりの朗読劇公演です。芸術と美を追求した芥川龍之介と人間の在り方、善き生き方を重視した菊池寛、作品の傾向や方向性は異なる二人は十代から親交が深く、のちに文芸春秋を創刊した菊池寛は、早逝した親友の才能を惜しみ芥川賞を創設しています。そんな二人の作品を取り上げました。

芥川の「二人小町」は、二人の小町が自分の身を守ろうとエゴむき出しのかけ引きが展開される笑いと皮肉に満ちた小話風の作品で、二〇二〇年秋に上演したのですが、今回は配役を総替えし全く違った印象で楽しんでもいただけたと思います。

菊池寛の「入れ札」は、一赤城の山も今宵限り、可愛い子分のためえ達とも別れ別れになる門出だ、で知られる国定忠治と子分たちとの別れの場を題材に、人の心の底に潜む哀しい弱さを描いた秀作です。

朗読が好きの方は勿論、朗読に関心や馴染みのない方にも気軽に楽しんでいただける内容です。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

朗読劇団あめんぼ座 柳沢 佐和子

### あめんぼ座とは

一九七三年、西垣瑩子とその仲間によって創立された日本初の朗読劇団。以来、朗読の様々な表現を模索し、多彩な舞台活動を展開、「朗読劇」といわれるジャンルを開拓してきた。十周年公演『与謝野晶子・永遠なる七五調』で大阪府民劇場奨励賞を受賞、十五周年公演『山椒太夫』で地方文化振興に貢献したとして大阪府知事より表彰を受ける。常に幅広いジャンルの作品に挑戦しつづけ、昨年は坂口安吾『桜の森の満開の下』を上演。ラストホールでの公演は二〇〇七年の初公演から今回で十三回目。またラストホールでは朗読劇の公演の他、朗読ワークショップや楽しい朗読などの市民向け講座の講師として劇団メンバーが活躍している。

お問い合わせ

ラストホール TEL 072-781-8877

<火曜休館>

<https://www.lustrehall.com>



主催

公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団 ラスタホール、伊丹市教育委員会  
ラストホール(伊丹市立生涯学習センター) 〒664-0865 伊丹市南野2-3-25

アクセス

- 阪急神戸線塚口駅北出口より伊丹市バス系統3 7 JR伊丹行き、4 0 三師団交通局行き、「ラストホール前」下車すぐ
- 阪急伊丹駅・JR伊丹駅より伊丹市バス系統3 7 阪急塚口行き「稲野町8丁目」下車徒歩1分
- 阪急稲野駅より西へ徒歩6 0 0m

- 新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、日程変更または中止となる場合がございます。
- ご自宅を出られる前の検温、来館中のマスク着用をお願いします。
- 体調不良の場合は来場を中止していただきますようお願いいたします。

